

6月は環境月間です

みんなにやさしい暮らし方

わたしたちは、地球が与えてくれるエネルギーや資源などを利用して、便利で豊かな生活ができるようになります。



しかし、このことが地球温暖化や酸性雨、オゾン層破壊などの地球規模の環境問題をもたらしています。6月は環境月間、6月5日(月)は「環境の日」です。

この機会に、わたしたちが日常できることは何か、しなければならないことは何かを考え、家族や事業所などで話し合い、実行してみたいかがでしょうか。

◆アイドリング・ストップ

荷物の積み降ろしや駐車中などのエンジンのかけっぱなしは、大量の排出ガスをまき散らします。不必要なアイドリングはやめましょう。

◆ごみを出さない暮らしを

省資源・省エネルギーは、未来の子どもたちへの贈り物です。

◆家庭でできる省エネ対策

エアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビの4つで全体の約66%の電気エネルギーが使われています。身近なことから省エネを始めましょう。

- ・暖房器具や冷房設備などのつけ放しを控えましょう。
- ・室内の温度はこまめに調整しましょう。
- ・シャワーの流しっ放しはやめましょう。
- ・照明はこまめに消しましょう。
- ・ unnecessary テレビのつけ放しは控えましょう。
- ・冷蔵庫の温度調整やドアの開閉に気を付け効率的に使いましょう。
- ・電気製品を買うときは、省エネ型を選びましょう。

・照明はこまめに消しましょう。
・ unnecessary テレビのつけ放しは控えましょう。
・冷蔵庫の温度調整やドアの開閉に気を付け効率的に使いましょう。
・電気製品を買うときは、省エネ型を選びましょう。

◆リサイクル製品を積極的に使いましょう



土谷川でカワシンジュガイを採集する小屋瀬中の生徒(平成14年)

小屋瀬中が環境大臣表彰

河川の動植物を守る活動が評価

環境ボランティア活動に積極的に取り組んでいる小屋瀬中学校(吉田幸雄校長、生徒三十七人)は、平成十八年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰(いきもの環

境づくり・みどり部門)を受賞しました。

同校では、モリアオガエルの生息地などの確認を契機に環境学習に取り組み、平成九年から本格的に「環境ボランティアデー」を設け、学区内の五地区に生徒と教職員が分かかれ、水質や動植物の調査、希少種の保護活動を行っています。

平成十五年に着工した土谷川の河川改修工事では、同校の活動実績を生かし、希少種のサクラソウとカワシンジュガイの調査や移植作業が行われ、自然環境に配慮した川づくりに貢献した功績などが認

めらられての受賞です。四月二十八日、東京都新宿御苑での表彰式に出席した生徒会長の林亜里沙さん(三年)は「先輩や地域の方が積み重ねてきた活動が全国で認められ、すばらしい賞をいただくことができました。受賞によって私たちの意識も高まりました。今後も環境ボランティアに力を入れ、さらに良い自然環境をつくっていききたいと思えます」と意欲をみせています。

本年度の表彰は四十二件、本県は二団体の受賞です。



林生徒会長と小池ゆり子大臣

貢献の場としても森を生かしていきたい」とあいさつしました。小岩金網では、里山森林整備実行委員会(竹川高行委員長)が行う「森からの新ビジネス展開事業」の実践の場として提供します。

くずまき高原環境の森づくり事業として行われた植樹祭は「くずまき高原ふじしまの森」となったグリーンテージ北側の山林で行われました。伐採跡地となっていた斜面に、山林再生のためにカラマツ二百五十本、憩いの場としても楽しめるようサクラ五十本と山ツツジ六十本が、町民約二百五十人や参加した二社の社員らの手で、しっかりと植えられました。

小岩瀬森林愛護少年団や江刈小、吉ヶ沢小の児童も参加。植樹後は木の名前を書いたプレートが取り付けられ、子どもたちは、木の植え方や植樹の大切さを学んでいました。くずまき高原環境の森づくり事業は「企業の森」の一つの柱として位置づけています。手入れの行き届かない山林を企業の力を借りて整備し、森林に親しみ、その役割や環境への理解を深めてもらいながら、住民との交流などによる地域活性化へのつながりも期待されます。



森林保全管理協定に調印後、握手する④から中村哲雄町長、西村専次社長、佐藤善之社長、中崎和久町森林組合長

春の叙勲

地域医療に貢献し

瑞宝双光章



西島 康之さん(72歳・新町)

平成十八年春の叙勲で、西島康之さんが地域医療への貢献などが認められ、瑞宝双光章を受章しました。

西島さんは、岩手医科大学医学部大学院を卒業後、同大学に勤務し、講師、医局長を経て、昭和四十七年に西島医院を開業しました。以来、地域住民の健康保持、増進のために昼夜を問わず診療に当たっています。

昭和三十四年、日本でも初めて「農夫肺症」を発見し、母校の同大学と共同で診断や治療、予防を確立させました。平成十二年には、長年にわたる献身的な医療活動が認められ、読売医療功労賞を受賞。昨年は、日本アレルギー学会功労会員に推挙されています。また長年、葛巻高校などの学校医を務めるほか、健康で住みよい町づくりのため、さまざまな活動を続け、町の保健、医療、福祉の充実に貢献されています。「健康は体と精神、そして環境が大切です。健全な環境なくして、健康はありません。今後も町民の健康のため、力を尽くしたいと思う」と話しています。

高齢者叙勲

地方自治に貢献し

旭日単光章



堀欠 伍八郎さん(88歳・四日市)

堀欠伍八郎さんが高齢者叙勲で旭日単光章を受章し、五月二十三日、中村哲雄町長から伝達されました。堀欠さんは、昭和五十一年に葛巻町議会議員に当選以来、連続三期十二年間在職し、地方自治の進

展のため、教育や産業、健康福祉などの分野で献身的に尽力されました。また、町農業委員会委員や町行政連絡員、町公衆衛生組合連合会副会長としても活躍されました。堀欠さんは「好きな絵を書いている時が一番楽しいですな」と笑顔を見せました。

環境の森づくり

企業の森に植樹



木の植え方を聞きながら作業する小学生

「くずまき高原環境の森づくり事業」として、5月20日開かれた第6回町植樹祭。本町に初めて「企業の森」が誕生し、町と町森林組合、森林所有者である首都圏の2社との間で、それぞれ森林保全管理協定が結ばれました。今後、森林がもつ多面的な機能が発揮され、環境保全や都市との新たな交流の展開に期待が寄せられています。

森林保全管理協定の調印式は五月二十日、植樹祭に先立ち、ふれあい宿舎グリーンテージ駐車場で行われました。協定を結んだのは、町内に約七畝の山林を社長個人が所有している小岩金網株式会社(本社東京都、西村専次社長)、新たに約六畝の山林を購入した株式会社藤島建設(本社埼玉県、佐藤善之社長)の二社です。協定は、企業側が社員や顧客の環境学習や憩いの場などとして「企業の森」を活用し、管理は町森林組合が請け負い、町は同組合とともに森林の環境保全活動に協力していくというものです。佐藤社長は「葛巻のカラマツ集成材は品質も高く、住宅販売で評価を得ています。森林を伐採した分の回復とともに、社会